



栃木医療センター 広報誌 No. 56



理 念

信 頼 貢 献 協 働



Contents

- 新院長挨拶 1
- 新副院長・新統括診療部長挨拶 2
- 災害支援活動報告 3・4
- 病棟紹介（7階病棟） 5
- 連携医紹介（戸祭診療所） 6
- 交通のご案内 裏表紙

新院長挨拶



院長 石原 雅行

4月1日より院長に就任いたしました石原雅行です。もともと宇都宮出身で58年前に『栃木医療センター』の前身である『国立栃木病院』で生まれました。1997年に当院に赴任して、27年間脳神経外科医として栃木県の脳卒中医療に取り組んできました。

前任の田村院長の任期3年間は、ちょうど『コロナ禍』で苦労した時期でした。有症状外来設置や感染病床確保、県内や東京の宿泊施設応援派遣など次々と迫る難題に取り組みながら、改めて栃木医療センターの役割を考えさせられました。

さて、『栃木医療センター』が今後優先すべき事項はなんでしょうか。悲願の新外来棟建築はもちろんですが、ただ建物や設備を新しくするだけでなく、良質な医療を限られた医療資源で無駄なく効率的に行うための機能的な病院を構築することが必須でしょう。また、それを支える人材集めと育成に力を入れていかねばなりません。重要なのは、地域包括ケアシステムの中で栃木医療センターの役割を明確にして地域医療連携を強化していくことです。地域医療構想や医師の働き方改革は逆風と考えられがちです。しかし、従来 of 頑なな心理的ホメオスタシスを打破して、柔軟に病院変革していく良いタイミングなのだと私は考えています。また、栃木医療センターだけでなく周囲の医療機関や行政と協力して地域医療を構築していく必要があります。必要な変革を避けることや、地域ニーズを無視してやりたい医療を優先し空回りするを続ければ、地域医療構想のなかで消えゆく病院となるでしょう。

病院の使命は地域のニーズが決定します。アンテナを高くして地域・行政との連携をとり、病院理念である『信頼・貢献・協働』を改めて目標として、『栃木医療センター』を盛り立てていければと思います。どうぞ、よろしく願い申し上げます。

新副院長挨拶



副院長 畠山 直樹

今年4月1日をもって副院長に就任しました。2006年6月に当院に泌尿器科医として赴任して以来、常日頃診療を通して連携医の先生方には大変お世話になっております。これまでも地域医療に貢献できるよう信頼・貢献・協働という当院の理念のもと泌尿器科診療に携わってきましたが、今後は病院幹部として（一応診療業務も続けますが）、地域医療を担う中核的病院としてより一層連携医の先生方のお役にたてる栃木医療センターを目指していきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

新統括診療部長挨拶



統括診療部長 上原 慶太

2024年4月に統括診療部長に就任しました上原です。消化器内科医として栃木に来てから22年になりました。私が赴任した時には10人程いた内科医が一時期は3人まで減り、医師集めに奮闘したのを今でも覚えています。その後、多くの皆様のご協力のもと少しずつ内科医が増えてきて今年度はプログラムで他院へ出向している研修医も含めると30人まで増やすことができました。しかしその間には東日本大震災やコロナ渦などを経験し、日常診療もできないような状況でも当院の可能な範囲で地域医療に貢献すべく、職員一同で協力して対応してきました。さらに今年度からは「働き方改革」も始まる事で、医師の負担を軽減しながらいかに地域医療への貢献を継続していくか幹部として難しい舵取りをしなければいけません。色々模索していきながら地域の皆様にはできるだけご不便をおかけしないよう努力していきたいと思います。まだまだ力不足な部分はありますが、引き続きご指導よろしくお願い致します。

能登半島地震 朽木医療センター医療班 災害支援活動報告

～災害支援における医療者の役割～

2024年1月1日、石川県を震源とする大規模地震が発生しました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。一日も早い日常への復旧を願っております。

今回、災害の発生を受け、国立病院機構（NHO）では、発災当初からDMATやDPAT、NHO医療班として活動しました。

朽木医療センターは、医師1名、看護師2名、薬剤師1名、事務1名の5名でチームを組み、1月13日から1月17日まで輪島市でNHO医療班として医療支援活動を行いました。

私たちのチームが現地に入ったのは発災から約2週間後で、避難所等の環境調査と避難者の健康管理が主な活動内容でした。避難所は、自治体設置の公民館や学校体育館などに加え、自治体が把握していない地域住民運営の自主避難所が多数ありました。

避難所管理者の方と情報を共有し、避難者の飲食や睡眠状況、バイタルサイン、一人ひとりの表情等から健康状態を確認しました。

高齢者の肺炎症状増悪や誤嚥性肺炎疑いの方に、病院での医療介入の必要性を判断し、病院受診の調整を行うなど、二次的健康障害や災害関連死を未然に防ぐための支援活動や、インフルエンザ・COVID-19の感染を防ぐために、マスクなどの物品の確認や避難スペースの仕切りや距離、避難生活を過ごす上で適切な環境かどうかを、長期的な視点でみて心身両面でのチェックを行いました。

私たちの活動期間は、医療ニーズは急性期から慢性期へ移行し、緊急的な医療が必要な避難者はほとんどいませんでした。しかし、私たち医療者が避難所へ伺い、挨拶すると、皆さんほっとした表情になり、「ありがとうございます。」「お疲れ様です。」と暖かく迎え入れて下さいました。この状況を見て、医療者は身体的な痛みや苦しみを治すだけでなく、避難という特殊な環境において、「医療・健康を守るチームが近くに存在する」という精神的な安心感を与える役割を担っていることを実感しました。



自主避難所へ移動中



避難所で健康状態の確認中

避難所で健康チェックのため血圧を測ると、「私も測ってもらおうかしら」とみなさん集まり、「この薬を飲んでいて、もうすぐなくなるんだけど大丈夫かしら」「寝る場所を変えてもらったらくよく眠れるようになった」など避難生活の話をする避難者にこころと耳を傾け、共感することで、避難者の気持ちに寄り添うことができたと感じています。

今後、復興に向けて被災者・避難者を取り巻く環境や生活スタイルが変わっていく時期になります。被災者・避難者の体の健康だけではなく、心の健康にも配慮した、継続的な関わりが求められると考えます。医療者としてだけではなく、今の私たちができることは何かを考え、実践可能な支援を今後も行っていききたいと思います。

最後になりましたが、災害支援の活動に当たり多くの方々にご協力をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。



栃木医療センター災害支援チーム

7階病棟

7階病棟看護師長 上武 直美

7階病棟は、主に小児と成人の混合病棟です。小児は、小児科、小児外科、小児泌尿器科、小児歯科、整形外科を、成人は、内科だけでなく外科、整形外科、耳鼻科、皮膚科など幅広く受け入れており、乳幼児から高齢者まであらゆる年齢層、疾患の患者さんに昼夜を問わず速やかな入院対応と安全で丁寧な看護を実践しています。

病棟には小児専門看護師1名、小児アレルギーエドゥケーターが2名所属しており、専門的看護にも力を入れています。

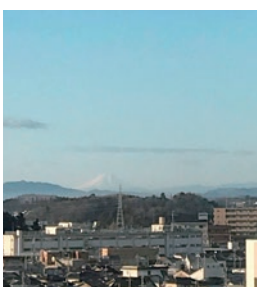
子どもとその家族にとってより良い療養環境を整えることや、保育園や学校、地域と連携し、子どもの成長発達に合わせた看護実践をすること、疾患を抱えて生活する子どもと家族の持っている力を引き出しながら支援することを役割とし、入院によるアレルギー負荷試験を安全に実施するための援助や、アレルギーについて患者および家族への指導を行っています。また、保育園、幼稚園、小学校に出向き、アレルギーに関する出前授業を実施し、子供たちが安全に過ごせるよう院外でも活動しています。

令和5年度から小児泌尿器科を標榜し、水腎症、膀胱尿管逆流、尿道下裂などの小児泌尿器科関連疾患の患者さんを積極的に受け入れ、小児外科疾患とともに手術治療に対応しています。鏡視下手術が導入されており、傷が小さく痛みも少なく術後の回復が早いという利点があり、合併症がなく早期退院できるよう努めています。

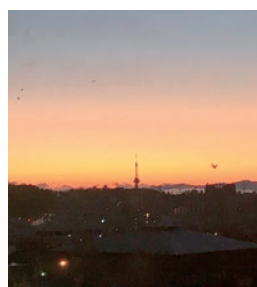
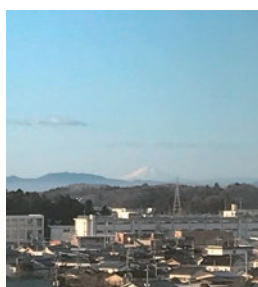
小児の入院では、お子さんのみならずご家族の精神的なケアも大切にしています。また、高齢者一人ひとりに寄り添い、患者さんにとってなじみのあるものを生活環境に取り入れ安心して療養していただけるよう支援しています。



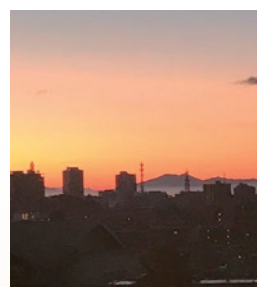
7階に位置するため日光連山や那須連山、筑波山や富士山をながめることができ、遠くに広がる四季折々の景色は療養中の心を和ませてくれます。



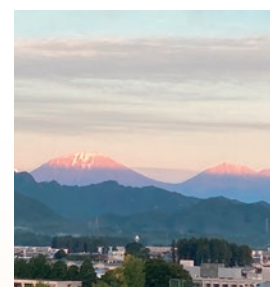
富士山



宇都宮タワー



筑波山



日光連山 (男体山・女峰山)

戸祭診療所

院長 やまざき 山崎 みんが 民雅

◇当院紹介

当院は、平成19年、戸祭町に形成外科・整形外科の診療所として開業致しました。

患者様の訴えに耳を傾け、丁寧でわかりやすい診断、治療方法の説明を心がけております。

栃木医療センターとの連携を通し、MRI、CT、骨密度等の検査、及び解析をご依頼する事、また、セカンドオピニオン、医療センターによる高度な治療へのアクセスを患者様に提供する事に依り、より良い医療を目指しています。

◇診療科

- ・整形外科
- ・形成外科（眼瞼下垂、腫瘍切除等、局所麻酔で行える範囲の手術）
- ・美容
しみ、しわ、たるみ治療
（ボトックス、ヒアルロン酸の注射、ケミカルピーリング、ペレヴェ）

◇設備、医療機器等

- ・レントゲン検査
- ・CO2レーザー
- ・ルビーレーザー
- ・心電図
- ・CAVI（動脈硬化症）検査
- ・一般採血検査
- ・理学療法室

□午後の診療開始時間について

午後の診察開始15時を予定していますが、手術の終了時間によって15時に開始できない場合があります。ご了承ください。手術は13時から行っています。

□診療の予約は必要ございません。

□美容に関するご相談・施術をご希望の方は受付にお申しつけくださいませ。

□手術の予定が入っている場合や、急患の処置などを行っている際には少々お待ち頂く場合もございますので、ご了承ください。

ご案内

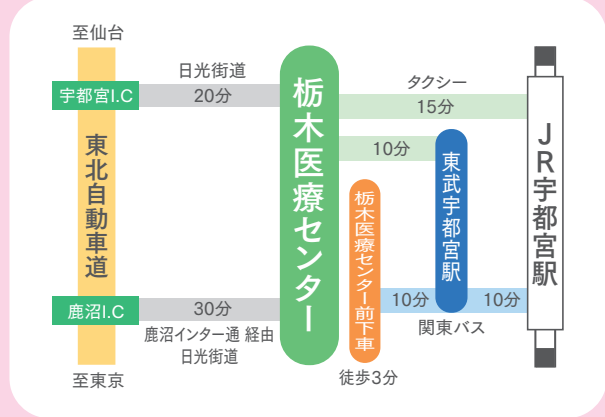
診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝日
初診 9:00 ~ 12:00 再診 9:00 ~ 12:30	●	●	●	●	●	●	×
初診 15:00 ~ 17:30 再診 15:00 ~ 18:00	●	●	×	●	●	×	×

※再診・初診で午前・午後の受付時間が異なります。

※理学療法（リハビリ）も上記時間内での受診となります。ご注意ください！



交通のご案内



発行人 独立行政法人国立病院機構
 栃木医療センター

院長 石原 雅行

〒320-8580 栃木県宇都宮市中戸祭1-10-37
 TEL. 028-622-5241 FAX. 028-625-2718
 URL. <https://tochigi.hosp.go.jp/>

